

経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)を受けられる患者さんへ

様

	入院当日 (手術前日)	手術当日		手術後1日目	手術後2日目～ 退院前日	退院日			
	月 日()	手術前	手術後				月 日()	月 日()	月 日()
		月 日()							
目標	手術を受けられるように 体調を整えることができる	リラックスして手術までの 時間を過ごすことができ る	・安静にベッドで過ごすことが できる ・痛みを我慢せず知らせるこ とができる	・歩行することが出来る ・尿に血尿がみられない	1日尿量:1.5L～2Lを目安に水分を摂ることができる (水分制限が無い方)				
検査			・手術後、心電図モニター、血栓 予防の機械を体に装着します (必要時、酸素吸入を行うこと もあります)	・血液検査をします ・心電図モニター、血栓予防の機械を 外します	血液検査を(適宜)します				
治療 (処置)	・入院後、体温・血圧を測ります ・体重測定をします 夜眠れない場合は 	朝の回診時に点滴の針 を入れ、点滴を開始しま す	・点滴をします  ・膀胱の洗浄を行うことがあ ります	朝に抗生剤の点滴をし、点滴は日中 に終了となります	回診時、尿の状態をみて医師 が尿の管を抜きます				
薬剤	・普段内服されている薬を入院 時にお渡しください ・眠前に下剤を飲みます	・朝の内服薬は、看護師 より説明させていただ きます ・排便を促すために浣腸 をします		回診終了後、朝の薬から再開にな ります(医師が指示した薬のみ再開と なります)					
食事	・夕食まで食事が出ます  ・夕食後から絶食です(水分可) ・就寝後(22時)より水分は摂ら ないでください 	・手術前は食事・水分は 摂れません 	足が動くようになり、お腹の音が聞 こえたら医師の指示で水分を飲め ます	・回診後医師の指示があれば食事が 開始になります ・朝食時間が遅くなるため軽食にな ります(パン、牛乳) ・昼から手術前と同じ食事になります		術後の経過は個人差があるため、 患者さんの状態によっては目標通りに進 まないこともあります。その都度対応させて 頂きますのでご安心ください			
安静度	制限はありません 		・手術後は翌日の朝の回診まで ベッド上で安静になります ・足が動き、お腹の音が聞こえたら 医師の指示でベッドを45度まで上 げることができます	回診後、医師の許可があれば歩行 できます					
清潔	自宅で入浴してきていない場合 は、17時までにシャワー浴をお 願いします			体を拭き着替えます	医師の許可があればシャワーに入れます				
説明 その他	・同意書の確認をします (手術、抗凝固剤中止、麻酔) ・アレルギー問診表の確認をし ます ・T字帯(できればテープ式のオ ムツ)、和式寝衣各2枚ずつ持っ てこられているか確認します	弾性ストッキング(血栓 予防の靴下)を手術前に 履きます (弾性ストッキングは病 棟で用意させていただ きます)	・初めて水分摂取するときは看護 師が確認させて頂きます ・お腹が張ったり、痛みがある時は ナースコールでお知らせくださ い	・手術後始めて歩行されるときは看 護師が付き添います ・手術後に体を動かすことは回復を 促しますので、歩く練習をしまし ょう ・尿の袋は下腹部よりも下になるよ うにしましょう	・尿の管が抜けた後、検尿コッ プで尿の量を量り、尿の色を確 認し用紙に記入してください(初 回の排尿は看護師に伝えてくだ さい) ・排尿時に痛みがあればお知ら せください	・水分を摂ってください ・次回の予約票を退院時にお渡しし説明し ます ・退院後は以下の症状がみられた場合 は、当院又はかかりつけ医を受診してく ださい * 38度以上の発熱が持続している時 * 尿が出にくい時 * 血尿が出た時			

なお、患者様の状態に応じて予定が変更になる場合があり
ご不明な点がございましたら、お尋ねください。

主治医()看護師()薬剤師()

北播磨総合医療センター 泌尿器科